

# 2015年度 ミクロ経済学中級Ib 第1回演習(15分)

グレーヴァ香子担当クラス

- 白紙は出席とは見なしません。
- 院生の方は採点して、成績に加味します。

ある財の消費可能量の集合  $F$  とは、非負の実数の部分集合であり、 $x \in F$  とは、その財を  $x$  単位消費することが可能であることを意味する。

(例：自動車やパソコンの消費可能量の集合は  $\{0, 1, 2, \dots\}$ 。ジュースなどの液体の消費可能量の集合は  $\mathbb{R}_+$ 。)

定義：ある点  $x \in \mathbb{R}$  が集合  $S$  の孤立点であるとは、 $x$  を含む开区間で、 $x$  以外の  $S$  の点が含まれないようなものが存在することである。

定義：孤立点のみからなる集合を離散集合と言う。

定義：ある財が分割不可能 (indivisible) であるとは、その財の消費可能量の集合が離散集合であることである。

以下、経済には2つ以上の財があるとする。

1. ある消費者の選好が局所非飽和性を満たすことと、すべての財が分割不可能であることは同時に成立しないことを示しなさい。
2. 一つの財が分割不可能であっても、局所非飽和性は満たされることがあることを示しなさい。